



ウチエのシャワー車椅子

シャトレチェア6輪SAL

ご使用のしおり

シャトレチェア6輪SAL

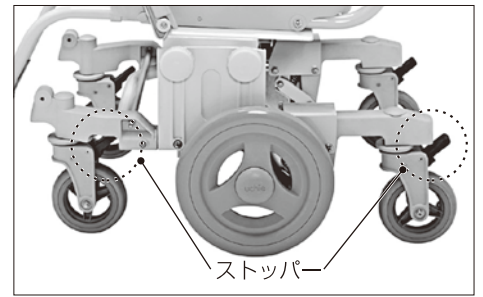
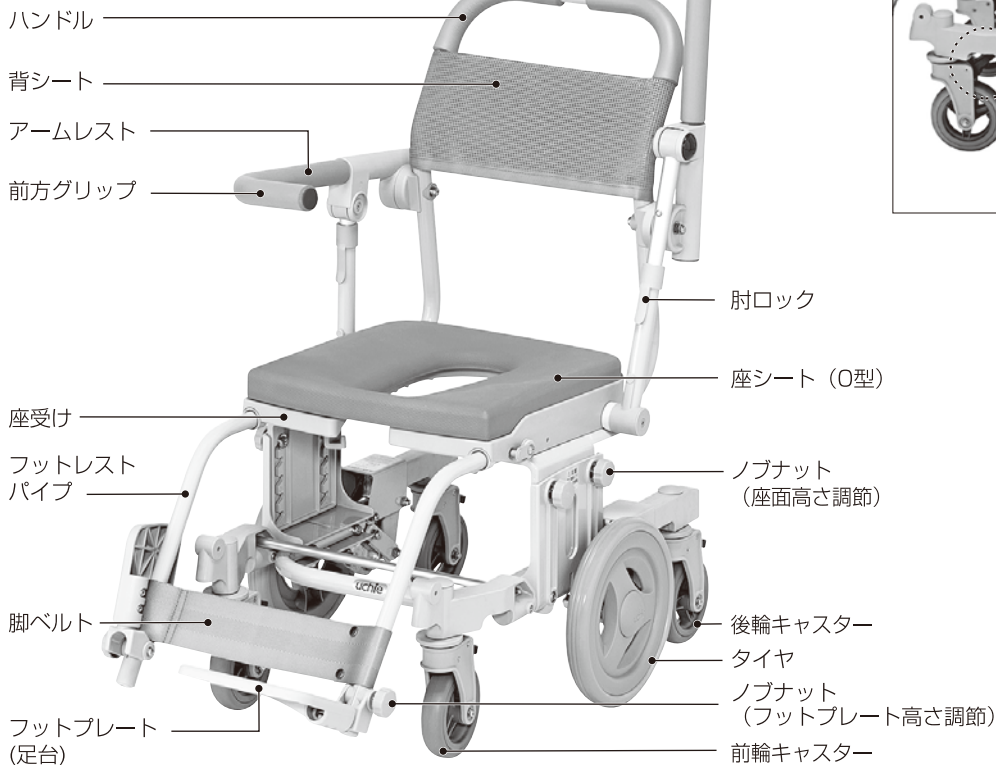
- 品番：SW6080SAL (O型シート)
SW6081SAL (穴無しシート)
SW6082SAL (U型シート)
SW6083SAL (O型バケツ付)
SW6084SAL (U型バケツ付)

**最大使用者体重
100kg 以下**

- このたびは、弊社の『シャトレチェア6輪SAL』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ・ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
 - ・本書は必ず保管しておいてください。
 - ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。
 - ・お買い上げのシャワー車椅子は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
 - ・本書の写真、イラストは『シャトレチェア6輪』を使用している箇所があります。

各部名称

シャトレチェア6輪SAL



穴無しシート(シート+取付板)



付属品

- ・ご使用のしおり(本書)
- ・ドライバー(#3)

※別売品でシートベルト(フリータイプ)、ヘッドレストDがございます。詳しくはカタログをご覧ください。販売店、または弊社までご連絡ください。

仕様

材質	・本体/アルミニウム合金、アルミダイカスト成形品、ステンレス、合成樹脂成形品 ・背シート/ナイロンメッシュ ・クッション(ハンドル、アームレスト、前方グリップ)/合成ゴム、PVC ・座シート/EVA ・脚ベルト/ナイロン
重量	約17 kg
車輪	前輪・後輪/ 5インチ ・タイヤ/ 10インチ

サイズ

単位：cm

	O型シート	穴無しシート	U型シート	O型バケツ付	U型バケツ付
幅	54.5				
奥行	96 [短奥行仕様時：83.5]				
奥行(フットレストなし)	69				
高さ	89~99 (2.5cm 刻み、5段階)				
前座高	45~55	44~54	43.5~53.5	45~55	43.5~53.5
後座高	43.5~53.5				
座幅(肘~肘)	40.5				
座奥行	40				
肘から前座	24.5				
前座から足台	39/41.5/44				

ご使用にあたって

- ・室内専用です。屋外では使用しないでください。
- ・強い衝撃を与えると、塗装がはがれますのでご注意ください。
- ・温泉の泉質によっては、塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となりますので、ご注意ください。
- ・入浴剤入りのお湯をかけると、車輪の回転などの動きが悪くなる可能性があります。
- ・お肌の敏感な方は、背シートの上にタオルなどを敷いてご使用ください。
- ・シャワー浴用に設計されています。浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。腐食による破損、けがの原因となります。

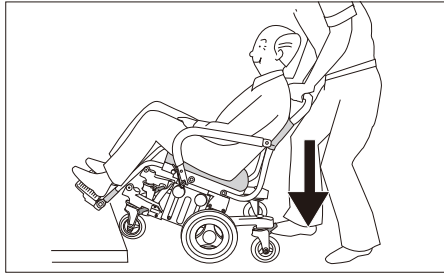
段差超えの仕方

段差超え(上り)の仕方

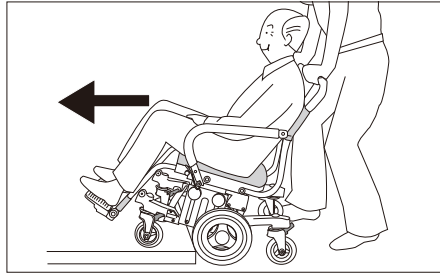
弱い力で敷居などの段差(最大10cm)を乗り越えることができます。

1. ハンドルを両手で握り、前輪が段差に当たった所で上から真下に荷重をかけてハンドルを押し下げ、中央のタイヤを支点に前輪を上げてください。(図①)
2. 前輪を上げたままタイヤが段差に当たるまで進んでください。(図②)
3. タイヤが段差に当たった所でハンドルを持ち上げながら前へ押し進み、段差を超えてください。(図③)

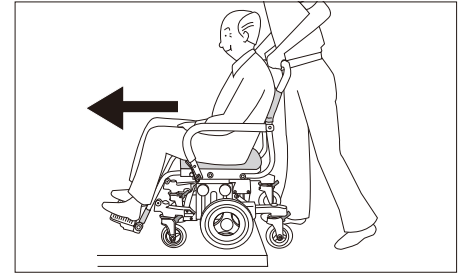
※身体を本体に寄せて作業をするとラクに段差超え(上り)ができます。
※ご利用者がいない状態では図①～③のようにはなりません。



①ハンドルの上から荷重を掛け、前輪を上げる。



②タイヤが段差に当たるまで前進する。

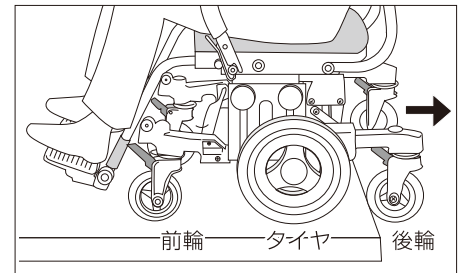


③ハンドルを持ち上げながら進む。

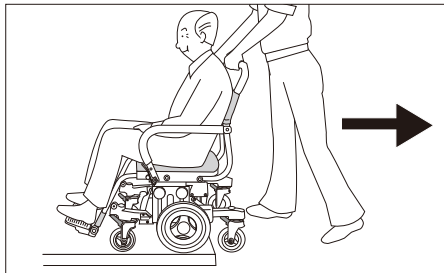
段差超え(下り)の仕方

1. ハンドルを両手で握り、本体をまっすぐ後方に引いてください。(図①)
2. キャスターの向きに注意し、ハンドルを引きながら左右のタイヤをゆっくり同時に下ろしてください。(図②)※タイヤが降りるまで後輪は浮いた状態です。(写真①)ハンドルをしっかり握り、身体を本体に寄せて操作してください。
3. 段差から離れるまでハンドルを下げずにそのまま後方に進み、段差から離れた所で前輪をゆっくり下ろしてください。(図③)

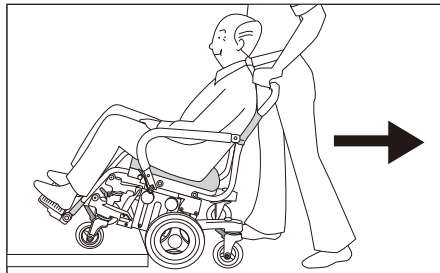
※段差を下りる際、タイヤが床に接地するまで本体は平行に保たれています。タイヤが床に下りる時、ばねにより本体が傾いて自然と後輪も床に付きますので、浮いている後輪を床に付けようと無理に本体を傾けないでください。



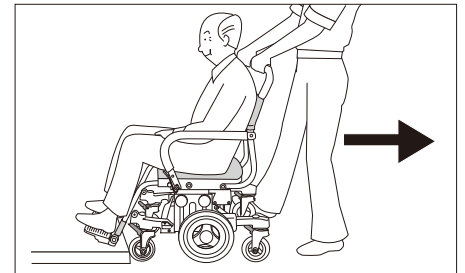
後輪が浮いても問題はありません。写真①



①ハンドルを下げずにまっすぐ後方へ引く。



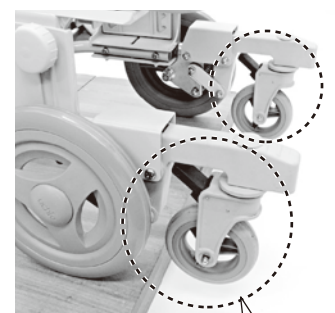
②ハンドルを引きながら左右のタイヤをゆっくり同時に下ろす。



③ハンドルを下げずに後方に進み、段差から離れた所で前輪をゆっくり下ろす。

⚠ 注意

- ※10cmを超える段差では使用しないでください。
- ※ある程度座位が保てる方を対象として開発した商品です。座位が保てない方はご使用なされないでください。
- ※段差超えの際は段差と平行に昇降しないとバランスを崩し、不安定になりますので注意してください。
- ※段差超えの際はキャスター(前後輪)がまっすぐ進行方向を向いているか確認してください。横向きや斜めの状態で使用するとキャスターが破損したり、本体が横倒れになる危険があります。
- ※段差超えの際はご利用者が横に乗り出して車輪を見るなど、身体を本体から乗り出さないでください。本体ごと倒れ、けがをするおそれがあります。
- ※段差を下りる際はキャスターの向きに注意してください。(ストッパーは進行方向と逆向き、後輪は浮いた状態)
- ※段差を下りる際は必ず後ろ向きで下りてください。前進で下りると前のめりになり、転倒するおそれがあります。
- ※段差を下りる際はタイヤが床に接地するまで後輪を床に付けようと無理に本体を傾けないでください。バランスをくずすおそれがあります。
- ※段差を下りる際にタイヤが床に接地してからはハンドルを必要以上に下げないでください。バランスをくずすおそれがあります。
- ※前輪を上げたまままでの方向転換はしないでください。すべての車輪が地面についた状態で方向転換を行ってください。



キャスターは必ずこの向きで段差から降りてください。

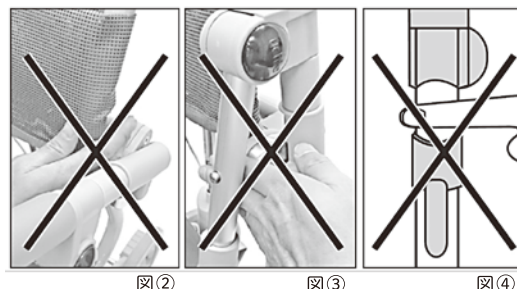
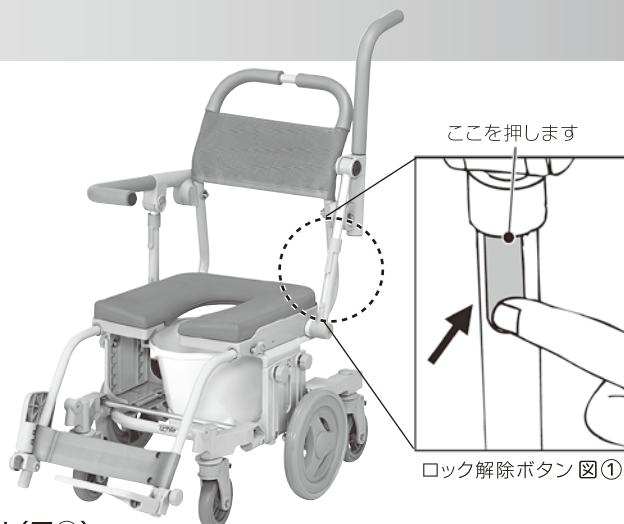
アームレストの取り扱い

・アームレストは左右ともはね上げ式となっております。

- 1.支柱パイプにあるロック解除ボタン(図①)を押してロックを解除し、アームレストをはね上げます。
 - 2.はね上げたアームレストを下ろす際は、ロックが掛かるまでしっかり下ろしてください。
- ※アームレストを上から押すだけでロックは掛かります。

⚠注意

- ※乗車中は、必ず前方グリップを外側に開いてからはね上げ、下ろす操作をしてください。前方グリップを閉じたままはね上げ、下ろす操作をすると使用者に前方グリップが当たります。
- ※アームレストをはね上げ、下ろす際に可動するアームレストと本体のすきま(図②)、支柱パイプとアームレスト取付部品とのすきま(図③)、可動する支柱パイプ(図④)などで手や指をはさまないように注意してください。
- ※はね上げたアームレストを他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- ※乗車中は、必ずアームレストを下ろして使用してください。
- ※使用者を乗せたままアームレストを持って移動しないでください。ロックが破損し、転倒、けがをすることがあります。
- ※アームレストに腰掛けないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。



図②

図③

図④

前方グリップの取り扱い方

・ご利用の際に握り、安心、安全です。

- 前方グリップを開く場合
前方グリップを外側に回転させると開きます。(写真①)
移乗時や体を洗う際にご使用ください。
- 前方グリップを閉じる場合
前方グリップを内側に回転させると閉じます。(写真②)
走行中や乗車中に握ってご使用ください。



写真①

写真②

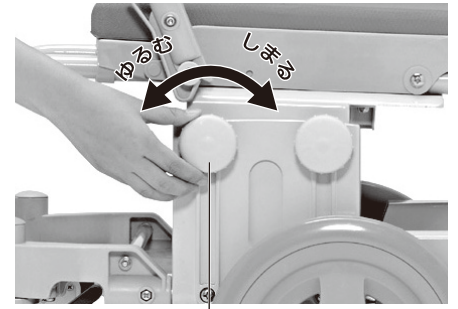
⚠注意

- ※立ち座りの際は、次の事に注意してください。
 - ・アームレストを内側や外側に回転させるような使用はせず、アームレストを垂直に押すように使用してください。不意にアームレストが回転し、転倒、けがをすることがあります。
 - ・前方グリップの片側だけに荷重を掛けたり、前方グリップを手すり代わりにして横方向に力をかけないでください。また、前方グリップに腰掛けないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- ※使用者が前方グリップを支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。転倒、けがをすることがあります。
- ※前方グリップを閉じたまま立ち上がらないでください。
- ※乗車中は、前方グリップを閉じて使用してください。
- ※乗車中は、前方グリップを持った状態で前のめりにならないでください。バランスを崩し、転倒の原因となります。
- ※前方グリップを無理に引っ張ったり押さないでください。クッションが破損することがあります。
- ※使用者を乗せたまま前方グリップを持って移動したり、前方グリップをハンドル代わりにして本体を操作しないでください。

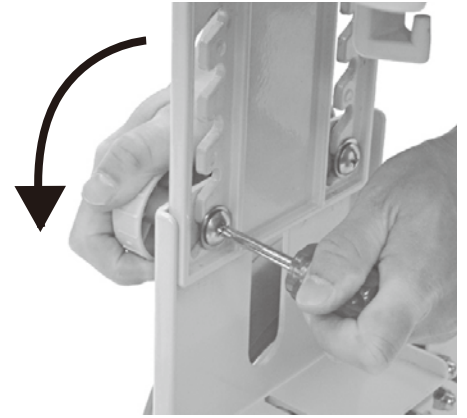
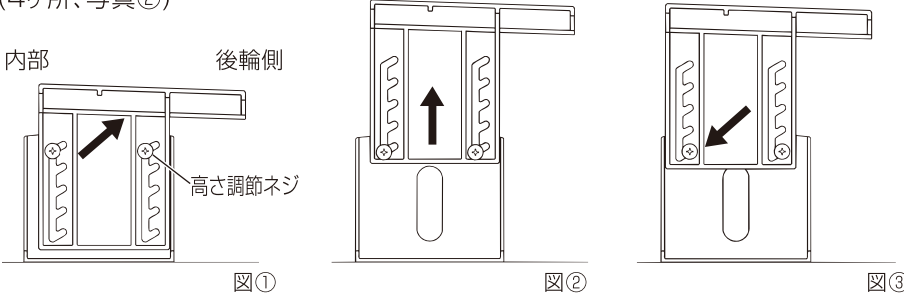
座面の高さ調節の仕方

座面の高さは、5段階(2.5cm刻み)の調節ができます。

1. 4輪(前後輪)ともストッパーをかけ、4つのノブナットを取れない程度に十分にゆるめてください。(写真①)
2. 座面を水平に持ち、溝に合わせて後輪側の斜め上に持ち上げてください。(図①)
3. 座面を上にはずして、利用したい高さまで合わせてください。(図②③)
4. ねじ頭に+ドライバー(#3)を当てて固定し、ノブナットをしっかり締めてください。(4ヶ所、写真②)



高さ調節ノブナット 写真①



写真②

⚠ 注意

- ※ご利用者が座面に座った状態での高さ調節はできません。
- ※高さ調節ねじのゆるみが弱いまま調節を行うと、溝が削れる場合があります。
- ※高さ調節ねじは4本とも同じ位置で締め、座面を同じ高さにしてください。
- ※高さ調節後は+ドライバーを使用し、必ずノブナットをしっかり締めてください。

トイレでの使い方

シャトレチェア6輪SALに座ったまま洋式トイレでの排泄ができます。

1. トイレに設置する前に便フタと便座を上げ、一緒に立てておいてください。
2. 本製品に座ったまま、できるだけ便器の奥まで押し込み、設置してください。
3. 排泄時はキャスターをロックしてください。

⚠ 注意

- ※トイレによっては適合しない場合があります。
- ※トイレによっては便座を上げずに設置できる場合があります。
- ※排泄時は必ずキャスターをロックしてください。
本製品が動き、転倒、転落事故等の原因となります。
- ※穴無しシートタイプはトイレでの使用はできません。



バケツの取り付け・取り外し方

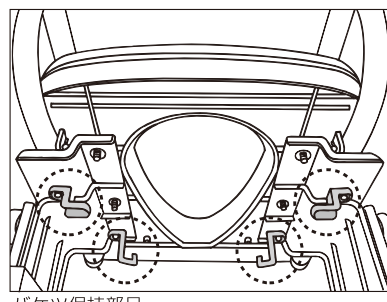
バケツを取り付けることにより、簡易トイレとしても使えます。※「バケツ」は別売りオプション品です。

● バケツの取り付け方

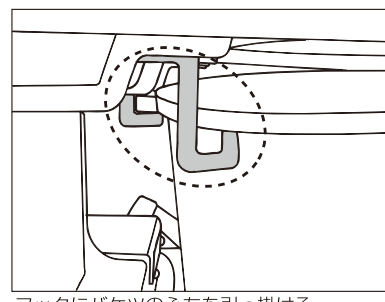
後ろからバケツのふちを、座面裏側のバケツ保持部品に乗せて奥まで差し込み、前方部のバケツ保持部品のフックにバケツのふちを引っ掛けてください。取り付け後はバケツを引っ張り、バケツが外れないことを確認してください。

● バケツの取り外し方

後ろからバケツを支えながらバケツの前を少し持ち上げ、ゆっくり引き出します。



バケツ保持部品
座面裏側後方から見た図



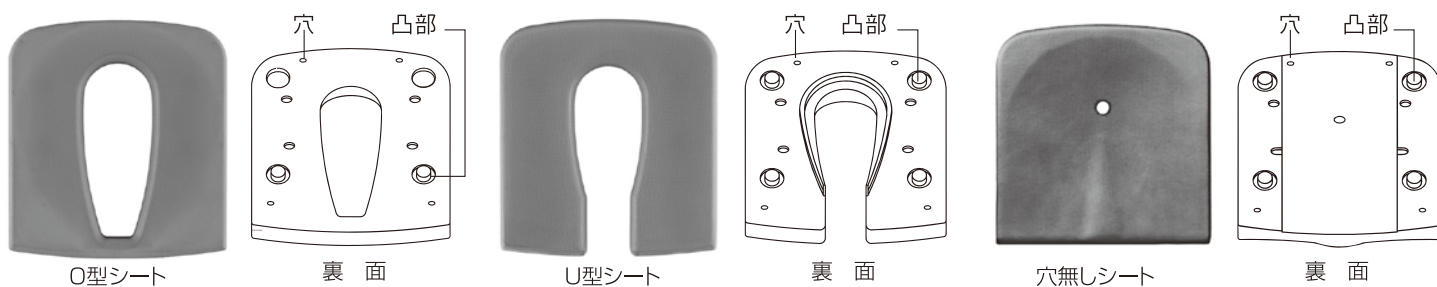
フックにバケツのふちを引っ掛ける



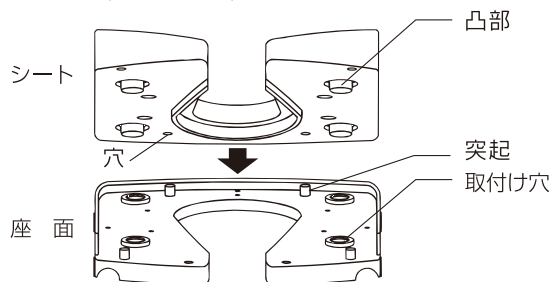
- ⚠ 注意
- ※バケツを取り付けた後は簡単に外れないか確認してください。

座シートの取り付け方

O型シート、穴無しシート、U型シートは交互に交換してご使用いただけます。



●O型シート・U型シート

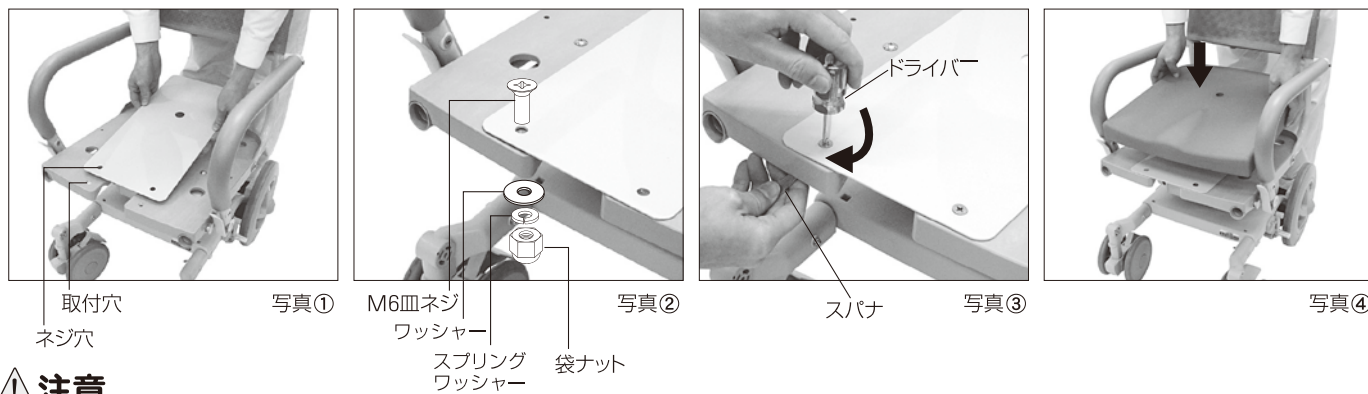
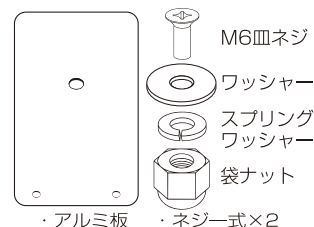


シートを取り付ける際は、シート裏面の凸部と穴を座面の取付け穴と突起にそれぞれ合わせ、上からしっかりと押しつけてください。

●穴無しシート

穴無しシートを取り付ける際は、最初にアルミ板を座受けにネジで固定します。

- 1.アルミ板のネジ穴と座受けの取付穴を合わせて、アルミ板を座受けにのせます。(写真①)
- 2.皿ネジを上から通し、裏側からワッシャー、スプリングワッシャーをネジに通して袋ナットを取り付け、#3の+ドライバーと#10のスパナを使用し、ネジを締め付けてください。(写真②③)
- 3.穴無しシート裏面の凸部と穴を座面の取付け穴と突起にそれぞれ合わせ、上から押しつけてシートを取り付けてください。(写真④)



⚠注意

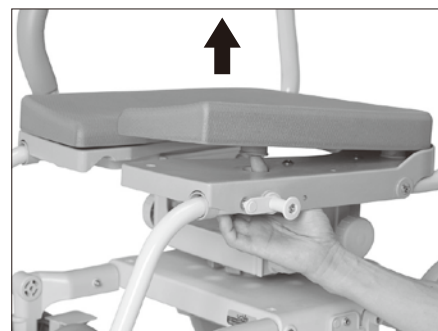
- ※ シートは交換時のみ取り外してください。
- ※ シートを何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※ アルミ板が座受けに固定されているか確認してください。
- ※ シートがしっかりと固定されているか確認してから使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。

座シートの取り外し方

座面の裏側からシートを押し、取り外してください。

⚠注意

- ※ シートは交換時のみ取り外してください。
- ※ シートを何度も外されると、裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※ シートを取り外す時は、必ず座面の裏側からシートを押し、取り外してください。
- ※ シートを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。シートが裂ける場合があります。



脚ベルトの取り扱い方

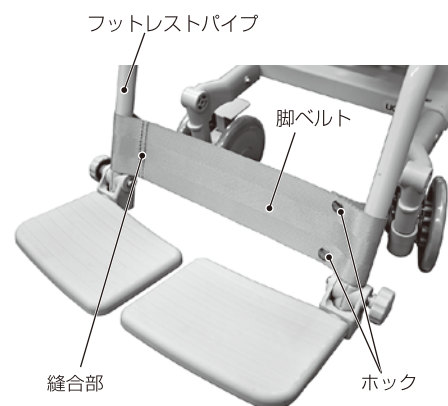
脚ベルトは取り外し可能です。

1. ホックを外し、縫合側はフットレストパイプを本体から取り外して、脚ベルトを抜いてください。
2. 取り付ける際は、縫合側をフットレストパイプに通し、本体に取り付け、反対側のフットレストパイプに巻き、ホックを留めてください。

※脚ベルトの向きは左右どちらでも取り付け可能です。

⚠ 注意

※シャワーキャリーは、必ず脚ベルトを取り付けた状態でご使用ください。脚ベルトがないと、足が後方にずれて前輪と接触するなど、けがをすることがあります。



フットプレートのはね上げ

フットプレートは横にはね上げ、後方に回転させる事ができます。移乗の際にじゃまになりません。

⚠ 注意

※乗り降りされる際は、必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上ののって乗り降りをする、転倒、破損の原因となります。

※車椅子に乗られた際や走行中は、必ずフットプレートに足を乗せてください。



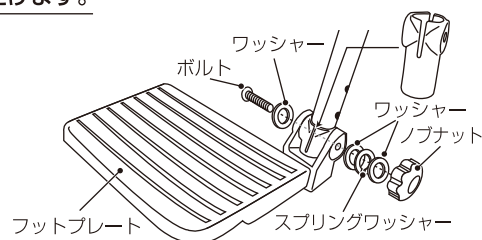
フットプレートの高さ調節の仕方

フットプレートは3段階の高さ調節ができます。利用される方のお体に合わせてご利用いただけます。

1. ノブナットをゆるめて外し、ワッシャー(計3枚)、スプリングワッシャー、ボルトを取り外す。
2. 高さを調節し、ボルトにワッシャーをつけて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ワッシャーを入れ、ノブナットをしっかりと締めてください。

⚠ 注意

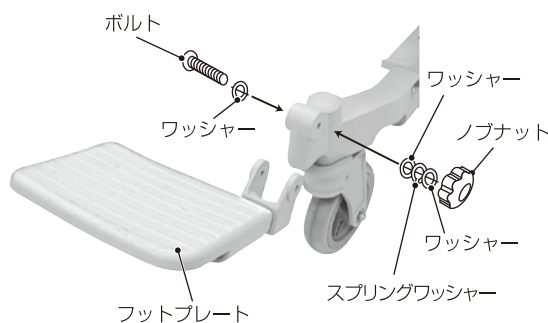
※左右同じ高さに合わせて調節し、ボルトとノブナットでしっかりと締めてからご使用ください。



短奥行仕様の仕方

フットプレートを前輪上部に付け替えて、奥行を短くできます。(短奥行仕様)

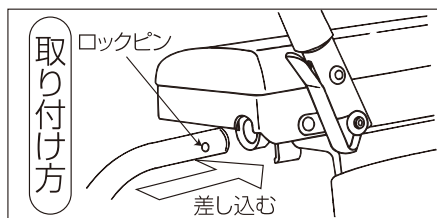
1. フットプレートをパイプから取り外す。
2. 前輪上部にフットプレートをつけ、ボルトにワッシャーをつけて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ワッシャーを入れ、ノブナットをしっかりと締めてください。



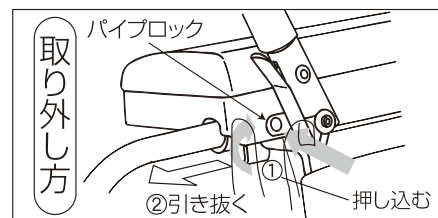
フットレストパイプの取り扱い方

フットレストパイプは取り外し可能です。
ご利用方法に合わせて着脱してください。

- ※フットレストパイプ着脱の際は、脚ベルトを取り外してください。
- ※フットレストパイプを取り付けた際は、引っ張ってもパイプが抜けないか確認してください。



フットレストパイプをカチッと音がするまで差し込んでください。
パイプを少し回転させながら差し込む、もしくはロックピンを押しながら差し込むと、入りやすくなります。



①内側と外側にあるパイプロックを指で挟むようにして押し込み、ロックを解除してください。

②押し込んだまま、フットレストパイプを引き抜きます。

キャスターについて

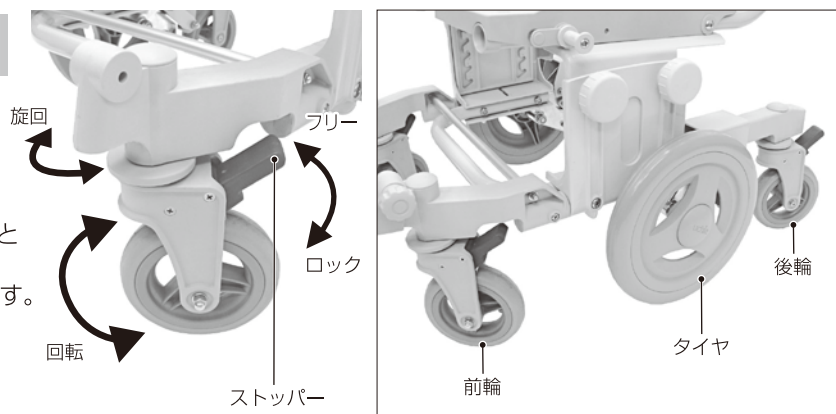
ストッパーは片足で操作できます。

●前輪・後輪キャスター

- ・方向自在輪でストッパー付きです。
- ・ストッパーを踏むとダブルロックがかかり、車輪の回転と旋回を同時に固定します。
- ・ストッパーを上げるとダブルロックが解除(フリー)します。

●タイヤ

- ・固定輪でストッパーがついていません。



背シートについて

- ・背シートは面ファスナータイプになります。取り外して、お手入れすることが可能です。また、面ファスナーの接着面をずらすことによって、張り具合を調節できますので、ご利用される方の身体状況に合わせてご使用いただけます。

※調節は3cm以内にしてください。面ファスナーの接着範囲が少なくなると、外れてケガをするおそれがあります。

ご使用時には面ファスナーをしっかり止めるようにしてください。

面ファスナーの全面をしっかり貼り付けずに使用すると、外れてケガをするおそれがあります。



背シート内に後転防止ベルトが付いています。

⚠ 注意

- ※必要以上に取り外さないでください。安全上、面ファスナーが強力なタイプとなっておりますので、劣化が早くなるおそれがあります。
- ※背シートは取り外す事ができますが、ご使用時には必ず背シートを取り付けた状態でご使用ください。背シートが無いと後ろに転倒する危険性がございます。
- ※後転防止ベルトは取り外せません。無理に取り外さないでください

お手入れの方法

- ・ご使用後は、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸した布を絞って拭きその後やわらかい布で乾拭きしてください。
- ・ご使用後は、日陰の通気性の良い場所で乾かしてください。濡れたまま放置されると、塗装はがれ、カビの原因となります。
- ・車輪にほこりがつくときしむ事があります。その際は、マシン油を少量注油してください。むやみに注油されるとほこりが付きやすくなり、汚れますのでご注意ください。

⚠ 注意

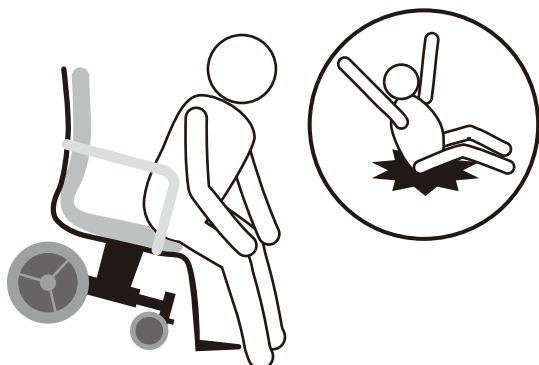
- ※お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。
- ※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
- ※60度以上の熱湯をかけないでください。EVA、樹脂部品等が変形、劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※アイロン、乾燥機の使用はおやめください。

Memo

⚠ 安全上の注意事項

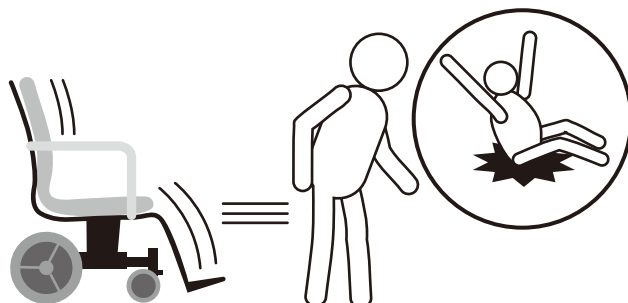
⚠ 注意

- シートの前端部やアームレスト、前方グリップの上に腰掛けないでください。転倒してけがをするおそれがあります。また、座ったままフットプレートに強く重心をかけないでください。本体ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。



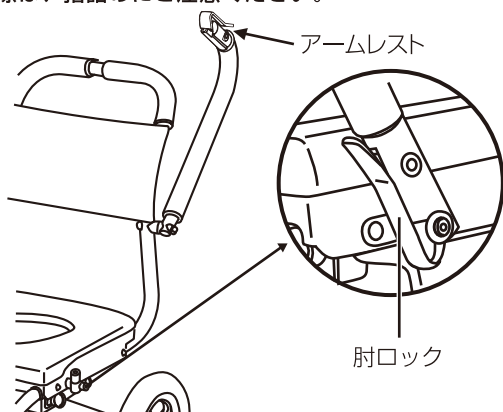
⚠ 注意

- 乗り降りされる際は、必ず車輪をロックして本体を固定し、座シートの位置を確かめてからお座りください。また、フットプレートに足をかけて乗り降りしないでください。本体ごと転倒するおそれがあり、大変危険です。



⚠ 注意

- アームレストをはね上げたまま使用しないでください。『シャトレチェア6輪SAL』をご使用の際は、アームレストを必ずロックしてください。ロックがされていないとアームレストが外れるおそれがあり、危険です。また、肘ロックを操作する際は、指詰めにご注意ください。



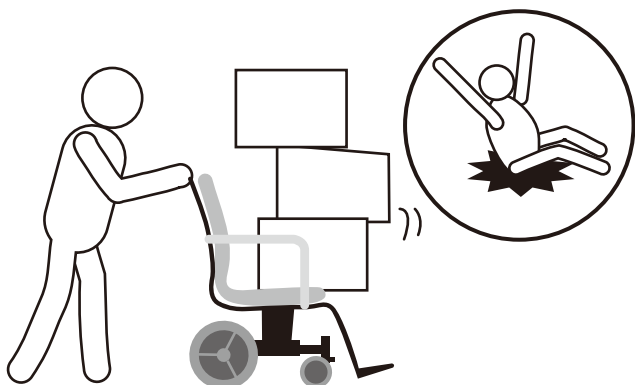
⚠ 注意

- 座っている時に体を強く緊張または硬直されると、本体に後ろ向きの力が加わり、本体ごと後方や横に転倒するおそれがあります。また、座ったまま足を前に投げ出し、浴槽の縁に足を乗せる等されると、転倒するおそれがあります。介助者は、ご利用者の状態を常に見届けてください。座位保持が難しい方のご使用はご遠慮ください。



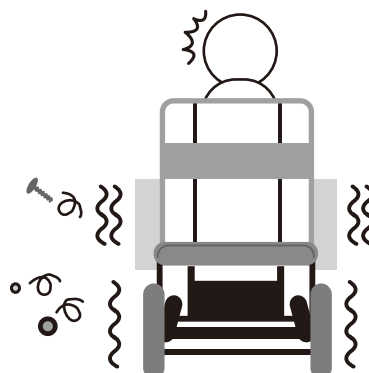
⚠ 注意

- 人以外の運搬に使用したり、踏み台の代わりとして座シートの上に立つなど、本来の用途以外で使用しないでください。けがや故障の原因となります。



⚠ 注意

- ボルトやネジがゆるんでいる状態や、座シートがぐらついたり、異音を発している状態のまま使用をしないでください。本体が壊れ、けがをするおそれがあります。この場合は、すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。



！ 安全上の注意事項

安全のため必ずお守りください

使用上のご注意

- 本製品は全介助が必要な方を対象にした商品です。使用する際は必ず介助者が付き添い、介助者が操作してください。
- 本製品は室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品を浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。
- 硫黄系の入浴剤や温泉をかけての使用はしないでください。温泉の泉質によっては、塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となりますので、ご注意ください。
- 『シャトレチェア6輪SAL』は、10cmを超える段差のあるところでは使用しないでください。
- 入浴時や段差越えの際はバケツを取り外してください。バケツに汚水等が入った状態で使用されますと、水がこぼれるおそれがあります。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・冷暖房器具の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・ストーブなど火気の近く
 - ・高温多湿、低温な場所
 - ・風通しの悪い場所
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- Pタイル、フローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、車輪を固定しても本体が動く場合があります。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをされるおそれがあります。
- 本体を持ち上げる際に、ハンドル、アームレスト、前方グリップ、フットレスト、脚ベルトなどを持たないでください。
- ハンドルやアームレスト、前方グリップに重いものを引っ掛けないでください。転倒するおそれがあります。
- 背シートを取り外して使用しないでください。転倒、けがをされるおそれがあります。
- 乗り降りされる際は、次のことに注意してください。破損、転倒、けがをされるおそれがあります。
 - ・必ず車輪を固定し、シートの位置をたしかめてお座りください。
 - ・アームレストや前方グリップ、座面の片側だけに手をついたり、アームレストや前方グリップを手すり代わりにして、横方向に力をかけないでください。
 - ・移乗する際は座面の前端部に荷重を掛けないでください。後輪が浮き上がり、車椅子ごと前に転倒するおそれがあります。前後が後ろ向きの場合は特に注意してください。
 - ・必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上ののって乗り降りしないでください。
 - ・平坦な場所で行ってください。傾斜のある場所では乗り降りしないでください。
 - ・勢いよく座らないでください。破損、転倒、けがをされるおそれがあります。
- 移乗の際は介助者が利用者をしっかりと支えてください。
- 移乗、停車、入浴する際は、前輪と後輪を必ずロックしてください。転倒、けがをされるおそれがあります。
- 傾斜のある場所では駐車しないでください。ロックをかけても動く場合があります。
- フットプレートは必ず取り付けて使用してください。
- 走行中はフットプレートに足を必ず乗せてください。けがをされるおそれがあります。
- アームレストや前方グリップ、背もたれをななめや他方向から押さないでください。転倒、けがをされるおそれがあります。
- 車椅子に乗った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに体重を掛けないでください。転倒するおそれがあります。
- 片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがのおそれがあります。
- アームレストを上げて横移動した後等の使用時には、必ずアームレストを下ろし、ロックしてください。また、ロックする際は、指をつめたり、けががないようご注意ください。
- 『シャトレチェア6輪SAL』は、走行中は前方グリップを閉じて使用してください。
- 『シャトレチェア6輪SAL』は前方グリップを水平にしたまま立ち上がらないでください。前方グリップが当り、転倒、けがをされるおそれがあります。
- 『シャトレチェア6輪SAL』は乗車中に前方グリップを水平にしたままアームレストをはね上げ、降ろす操作をしないでください。前方グリップがご利用者に当ります。
- 座シートは、交換時以外は取り外さないでください。
- 座シートを取り付けずに座受けに直接座らないでください。
- 座シートの前縁部やアームレスト、前方グリップの上に腰をかけないでください。転倒してけがをされるおそれがあります。
- 座面やフットプレートの高さ調整後は、必ずノブナットをしっかりと締めてください。
- 座面高さ調節ねじは、4本とも同じ位置で締め、座面高さが同じになるようにしてください。座面に傾斜を付けないでください。
- 車輪を固定したまま押さないでください。破損、故障のおそれがあります。
- ご利用者がハンドルやアームレスト、前方グリップを支えにしての移動や、立ち上がりはしないでください。転倒、けがをされるおそれがあります。
- 車椅子に乗っている時に身体を強く緊張、または硬直されますと、車椅子に後ろ向きの力が加わり、車椅子ごと後方や横に転倒するおそれがあります。介護される方は、車椅子にお乗りの方の状態を常に見届けてください。また、座位保持が難しい方のご使用はご遠慮ください。
- 車椅子に乗った状態で前かがみになるなど、車椅子前方のみに体重をかけないでください。後輪が浮き上がり、車椅子ごと前に転倒するおそれがあります。特に前輪が後ろ向きの場合は注意してください。
- 脊椎損傷など症状で座位が保てない、左右片方に体が傾く方は、本体が横に倒れるおそれがあります。必ず介助者が付き添ってください。
- 前輪キャスターの交換時は左右を確認して正しく取り付けてください。
- 人以外の運搬に使用したり、踏み台の代わりにして座シートの上に立つなど、本来の用途以外で使用しないでください。けがや故障の原因となります。
- ボルトやねじがゆるんだまま使用しないでください。本体が壊れてけがをされるおそれがあります。ボルトやねじが締まらない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 1ヶ月に一度は定期点検を実施してください。

商品廃棄方法 各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

ウチワ株式会社 サービス係

本社／大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372
関東営業所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312
福岡営業所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵庫工場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合がございます。予めご了承ください。

24.10. II